

—住民自治によるまちづくり—



## 長府地区まちづくり協議会



## ニュースレター

Vol.15

新型コロナウイルス感染拡大の予防のため、**新しい生活様式**が取り入れられ半年が過ぎました。ソーシャルディスタンス・マスクの着用・手洗い・3密を防ぐなどの**With コロナ**の生活は日常化してきました。しかし、日々変わる感染状況、飲食業を始め消費の落ち込み、医療関係従事者の疲弊、・・・、私達は不安な気持ちで過ごしています。このような中、長府地区まちづくり協議会や協議会関係団体の**コロナに負けるな！コロナに負けない！**活動が地域の皆さんを元気にしています。

8月13日 「**長府花火**」 主催：長府花火実行委員会  
～子どもに みんなに 今、届けたい～



長府商店街・マルシヨク前

新型コロナウイルス感染拡大防止により、子ども達の学校の授業や行事は縮小、地域イベントの多くが中止となり、子どもも大人も気持ちが沈みがちな日々です。少しでも子ども達に笑顔で過ごしてほしい、長府の町を一層好きになってほしいと、長府花火実行委員会が企画し、地元企業・団体の協力を得て、8月13日（木）に510発の花火を打ち上げました。午後8時頃、豊浦高校・豊浦小学校・長府中学校と6分間づつ順番に打ち上げられ、最後は3か所同時という粋な計らいでした。感染症予防のため打ち上げ場所は非公表でしたが、夕刻、豊浦小学校児童、長府中学校生徒のみ学校からメールで場所の知らせを配信しました。豊浦小学校では、3密を防ぐ・近隣交通渋滞防止のため「豊浦小おやじの会」のお父さん方が会場警備をしましたが、子ども達や保護者の方はマナーを守って花火を見上げていました。「**長府花火**」は夏休みの思い出として、絵日記や作文になっていました。



3か所同時の打ち上げ花火

豊浦小児童の絵日記



## 6月25日・26日 豊浦高校生徒会からの取材 「コロナ禍による医療現場、地元企業を応援しよう」



豊浦高校生徒会役員がパコセ6階で、新型コロナウイルス感染症による地元への影響を知ろうと、長府地区の医療施設や企業、団体関係者にインタビューを行いました。生徒会役員たちは、6月の文化祭が中止になり、日頃お世話になっている地域の皆さんに何かできないかと、考えて企画されました。インタビュー後は、クラスごとに感謝と応援のメッセージボードを作成し、7月6日(月)、完成したメッセージボードは長府地区まちづくり協議会を通じて各関係者に贈呈されました。高校生の地域を想う気持ちが嬉しく頼もしく感じられました。

## 7月13日～8月7日 《教育部会・商工業活性化部会》 長府ちゃんとアマビエのぬり絵展



長府地区まちづくり協議会のマスコットキャラクター「長府ちゃん」と、疫病を鎮めるとされる半人半魚の妖怪「アマビエ」のぬり絵を作成しました。「アマビエ」は、新型コロナウイルスの感染防止を呼び掛けるキャラクターとして人気者です。子ども達の健やかな成長と新型コロナウイルスの収束を願ったぬり絵は、地域の幼稚園児・保育園児が色鮮やかに塗りました。お願いごとには、ウルトラマンになりたい、おもちゃがほしい、プールで泳ぎたい・・・等かわいいお願いごとが書かれていました。園児達のぬり絵は、長府郵便局と長府商店街事務所パコセ1階に7月13日(月)～22日(水)、7月27日(月)～8月7日(金)の期間中展示されました。



## 7月22日 《事務局》 意見・情報交換会(Zoom会議)



第1回「まちづくり協議会事務局 意見・情報交換会」がWeb会議システム「Zoom」を使用して10時～12時まで行われました。

- 議題 ①下関市総合情報発信アプリ「しもまちアプリ」の導入について  
②しもまちスタンプラリーについて

出席者にとっては慣れないZoom会議でしたが、活発な意見交換がなされました。しかし、PCの画面越しの会議より実際の顔を見ての会議の方がよい、決議を伴う議題は対面会議がよい、との意見もできました。

※「しもまちアプリ」下関市とまちづくり協議会が共同で開発

地域のイベントや小中学校の年間行事、ごみカレンダー、避難所マップ、防災メール、災害時の伝言ダイヤル、子ども24時間SOSダイヤルなど役立つ情報が掲載されます。